

くすりのしおり

622143801
2012年6月改訂

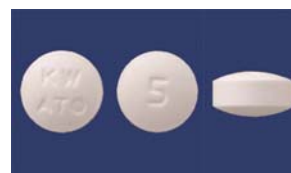
薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：アトルバスタチン錠 5mg「アメル」

主成分：アトルバスタチンカルシウム水和物（Atorvastatin calcium hydrate）

剤形：ごくうすい紅色の錠剤、直径 5.6mm、厚さ 3.1mm

シート記載：（表）アトルバスタチン 5mg「アメル」、アトルバスタチン「アメル」、5、高脂血症用剤（裏）Atorvastatin 5mg「AMEL」、アトルバスタチン「アメル」、5mg、高脂血症用剤、リサイクルマーク



この薬の作用と効果について

肝臓のコレステロール合成を阻害することにより、血液中のコレステロールを低下させます。通常、高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝障害、腎障害がある。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量は** ：医療担当者記入 **》**
- ・ **高コレステロール血症**：通常、成人は1回2錠（アトルバスタチンとして10mg）を1日1回服用します。年齢・症状に応じて適宜増減され、重症の場合は1日4錠（20mg）まで増量されます。
家族性高コレステロール血症：通常、成人は1回2錠（アトルバスタチンとして10mg）を1日1回服用します。年齢・症状に応じて適宜増減され、重症の場合は1日8錠（40mg）まで増量されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は、気がついた時、寝る前までにできるだけ早く1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ 指示された食事療法や運動療法をきちんと守ってください。
- ・ グレープフルーツジュースによって、この薬の作用が強くなることがありますので、一緒に飲むことは避けてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、胃不快感、そう痒感、手指しびれ、不眠、下痢、胸やけ、便秘、頭痛、全身倦怠などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 筋肉痛、脱力感、赤褐色尿 [横紋筋融解症、ミオパシー]
- ・ 吐き気・嘔吐、全身倦怠感、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、肝炎、肝機能障害、黄疸]
- ・ 咽頭痛・頭痛・頭重、全身倦怠感、鼻血・歯ぐき・皮下の出血 [無顆粒球症、汎血球減少症、血小板減少症]
- ・ 発熱、食欲不振、赤い発疹 [皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症、多形紅斑]
- ・ 口渇、多飲・多尿、疲れやすい [高血糖、糖尿病]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。